

平成29年第3回定例会(平成29年9月29日)

観光建設水道委員会委員長 (松川 峰生 委員長)

去る9月6日の本会議において、観光建設水道委員会に付託を受けました『議第63号 平成29年度別府市一般会計補正予算(第2号)』関係部分、ほか3件について、委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、その経過と結果についてご報告いたします。

初めに『議第63号 平成29年度別府市一般会計補正予算(第2号) 関係部分』についてであります。

産業政策課関係では、別府リサーチヒル2区画の売払いに伴う土地売却収入や、リサーチヒルの区画を分譲条件と異なった業種の企業に売払うことに伴う、大分県からの利子補給金補助に対する県返納金を計上しているとの説明がなされました。

農林水産課関係では、今年6月に新たに就農しました青年就農者に対する給付金を計上しており、この給付金に対する県の補助率は100%であるとの説明がなされました。

温泉課関係では、市営田の湯温泉の土地の一部が借地であり、その土地を購入する費用及び市営別府海浜砂湯について、砂湯の拡張に対し、民間活力を用いて事業の可能性を検討するサウンディング調査に必要な資料作成等の費用を計上しているとの説明がなされました。

委員からは「海浜砂湯はPFIなど民間活力の導入が前提と聞いているが、収益性の高い施設であり、建設費などを考慮しても直営することも可能ではないか」との質疑や、「民間の意見を聞いて市場調査をすることも理解できるが、別府市として規模や運営方針などの基本構想を持つておくことが重要である。」との意見がなされ、当局からは「どういう機能が求められるかなどは市場調査を活用するが、その結果をもとに規模や施設の内容を決定していく中で、直営・民間の選択も含めて検討していきたい」との説明がなされました。

さらに委員からは、「施設の仕様を決定する際には、障がいのある人や高齢者、LGBTなどの性的少数者などにも配慮することを要望する」などの意見がなされた次第であります。

都市整備課関係では、べっぷの海辺にぎわい創生に要する経費について、国土交通省の「先導的官民連携支援事業補助金」の交付決定がなされたことによる財源補正を計上しているとの説明がなされました。

建築指導課関係では、住宅等耐震診断・耐震改修等に要する経費において、昨年の震災以降、防災・減災の機運の高まりにより補助の申請が増加している、

木造住宅の耐震改修に対する補助金の追加額を計上しており、また歳入として事業費の75%にあたる国・県補助金を予算計上しているとの説明がなされました。

採決におきましては、議第63号 平成29年度別府市一般会計予算(第2号)関係部分については、全員異議なく可決すべきものと決定いたしました。

次に、『議第65号 平成29年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第1号)』についてであります。

公営競技事務所から、ナイター、ミッドナイト競輪を開催することに伴う経費の追加額や、平成28年度予算の実質収支額が確定したことによる繰越金や予備費の減額を計上しているとの説明がなされ、委員からは「九州の競輪場では別府の売上額が最も低い、他都市はナイター、ミッドナイト競輪を開催することで売り上げを伸ばしている。ナイター、ミッドナイト競輪は周辺の市民に迷惑をかけることもあるかもしれないが、そこは地域の人と連携するなど丁寧に対応しながらも、実施するからには売上額アップという成果が得られるよう努力してもらいたい。」との意見がなされました。

採決におきましては、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

次に『議第66号 平成29年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)』についてであります。

下水道課から、平成28年度決算に伴う、繰越金及び予備費の減額補正を行ったとの説明がなされました。

採決におきましては、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

予算外の議案についてですが、下水道課から『議第74号 平成29年度別府市公共下水道処理場及びポンプ場工事委託に関する協定の締結について』では、今年度から順次、終末処理場である中央浄化センターと市内5ヶ所の中継ポンプ場の更新工事と耐震・耐津波対策工事を行うにあたり、日本下水道事業団と工事委託の協定を締結しようとするものであり、契約金額は4億2480万円、協定期間は、平成29年度から平成30年度末までとなっているとの説明がなされました。

採決におきましては、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定した次第であります。

以上で、当委員会に付託を受けました議案に対する審査の概要と結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。